

榛西小だより

教育目標
人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成

めざす児童像

- ・よく学びよく考える子
- ・自分も人も大切にする子
- ・明るく健康でたくましい子

文責 小関

榛原西小学校だより 3月号 令和3年3月1日

学習参観ありがとうございました

— 2月4日（木） —

本年度初めてとなる学習参観と学級懇談会を行いました。人数の多い学年は体育館や音楽室を使い教室が密にならないようにしました。子供たちが生き生きと学習する様子を見ていただけたことと思います。



1年生
できるようになったよ発表会



2年生
ボール運動



3年生
これがわたしのお気に入り
音訓かるた



4年生
二分の一成人式～未来の自分～



5年生
6年生への抱負



6年生
自分の道標（みちしるべ）

主権者を育てる

— 6年生 議会見学 2月9日（火） —

6年生が市議会の議場を見学し、これから社会を担う子供たちに公民学習（主権者となるための教育）を進めるための機会として、模擬議会を体験しました。市民から集めた税金を、一人一人の暮らしが良くなるように使い道を決めていく、民主主義の仕組みを学びました。

終了後、参加されていた議員さんから、榛原西小学校の児童の皆さんは大変しっかりと発言できますねとおほめの言葉をいただきました。



なかま集会

— 2月18日(木) —

第3回なかま集会を行いました。みんなの広場の受講生が、チャングの演奏を披露したり活動したことを発表したりしました。また、交流を続けてきたアクティブセンターうだこココットの皆さんにも集会に参加していただき、活動の様子を教えてくださいました。体育館の密を避けて、1～3年生は教室で生中継を視聴しました。



いのちを輝かせて生きる君たちへ

—卒業式に向けて—

第15回榛原西小学校卒業証書授与式を3月19日(金)に挙ります。感染の状況にかんがみて、在校生は5年生の代表参加、来賓は市教育委員会からの1名様に絞っての式となりますが、その分、心を込めて卒業生を送り出せるよう準備を進めています。

6年生に手渡す卒業証書は、6年間毎日毎日小学校に通って学びを積み重ねた成長の証です。一枚の紙に込められた重みを感じて一人一人に渡します。

式の最後に卒業生とともに全員で「いのちの歌」を合唱します。先生方も放課後に音楽室で練習しています。いのちを精一杯に輝かせながら歩いていく卒業生を、この歌で祝福します。出席される6年生の保護者の皆さまもぜひ一緒に歌ってくださいますようお願いいたします。



いのちの歌

生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ
この星の片隅で めぐり会えた奇跡は
どんな宝石よりも たいせつな宝物
泣きたい日もある 絶望に嘆く日も
そんな時そばにいて 寄り添うあなたの影
みんなが歌えば 懐かしくよみがえる
ふるさとの夕焼けの 優しいあのぬくもり
本当にだいじなものは 隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に
かけがえない喜びがある
いつかは誰でも この星にさよならを
する時が来るけれど 命は継がれてゆく
生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命にありがとう

3月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事
2	火	全校朝の会	19	金	卒業証書授与式
3	水	6年生を送る会	卒業式には在校生代表として5年生だけが参列します。1年生～4年生は登校せず、自宅で卒業生をお祝いします。		
8	月	Sカウンセラー来校日			
10	水	人権を確かめ合う日 クラブ活動			
17	水	給食最終日	24	水	修了式

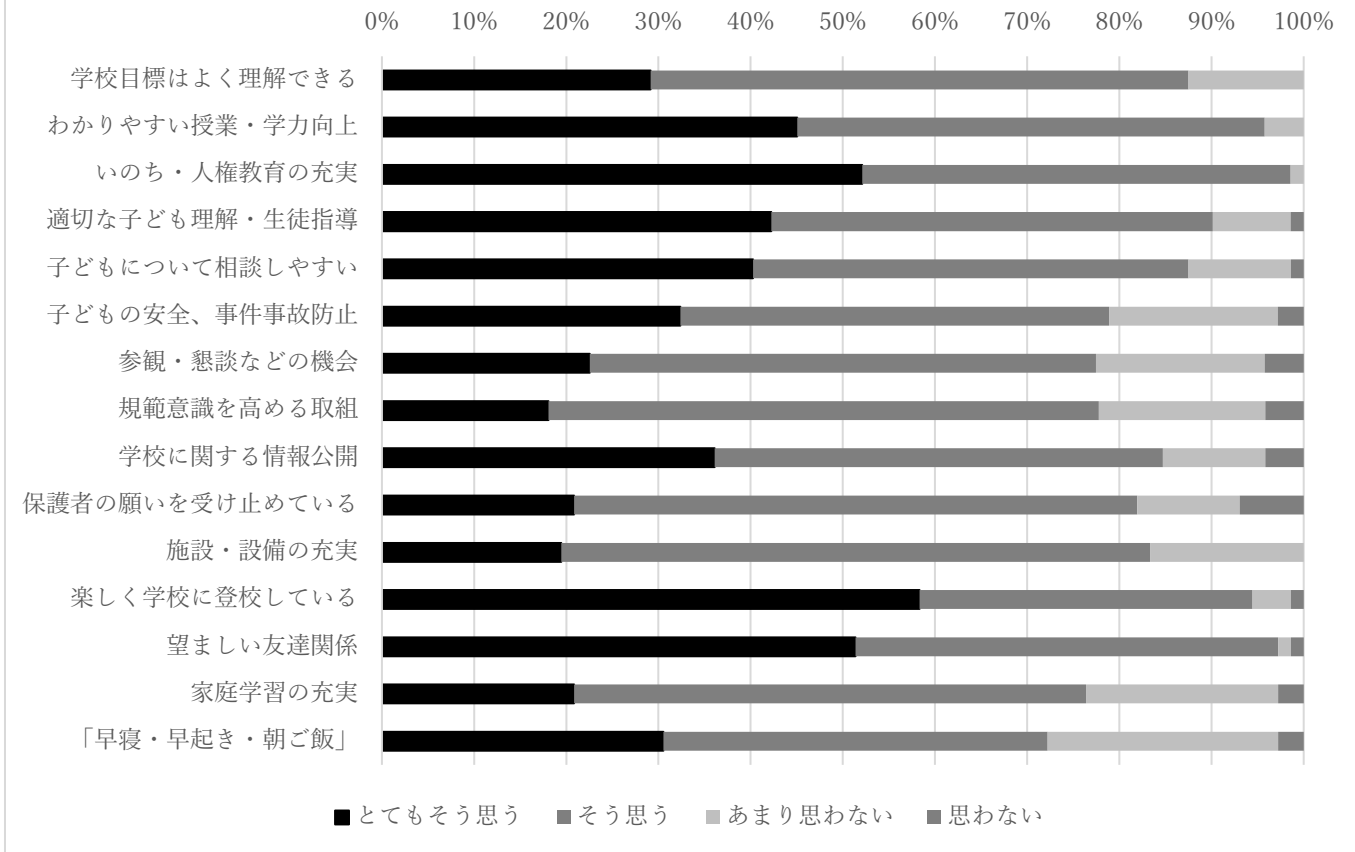
学校コミュニティ協議会・学校評議員会

2月19日(金)にPTAの会長副会長、学校評議員、地域コーディネーターの皆さんにお集まりいただき、榛原西小コミュニティ協議会・学校評議員会を開きました。

保護者アンケートの結果やパートナーシップ事業についてお伝えし、次年度に向けての御助言をいただきました。

※ 保護者アンケートの結果を裏面に掲載していますのでご覧ください。

令和2年度 保護者アンケート結果



- 少人数なので、先生方の目が行き届いていて、手厚くサポートしてもらえる。
 - アットホームで、全員の顔を子どもたちが把握しているところ。
 - 毎朝、先生が門に立ちあいさつをしている。
 - 上級生と下級生の関わりがよくできていて、安心感がある。
 - 少人数で、学年をこえて仲良くできる。縦割り活動があり、みんなで交流できる。
 - 子どもたちが皆、お互いにやさしくできていて、思いやりをもっている。
 - 田舎ですが、タブレットの活用など時代に合った教育方法をしている。
 - 自然が豊かなところ。
 - 先生と子ども、保護者の距離が近く、人間関係を築けている。
 - 先生方やPTAの方が、一生懸命努力して、子どもや保護者のために行動しているところ。
 - 親も子ども助け合いの考え方が根付いていて、仕事の押し付け合いをしない。
- △ 通学路、登校下校に関しての安全対策。
 - △ 子供の安全に関する危機管理。急を要する連絡等の対応。
 - △ 地域との交流や体験学習を増やしてほしい。
 - △ 少人数すぎてPTAの負担が大きい。
 - △ 3学期の学習参観は、コロナ感染者が増えている中で、やめてほしかった。
 - △ 子どもたちが積極的に外で体を動かして体力をつける時間があればいいと思います。
 - △ 管理職の先生と子どもたちとの関わりをもう少し増やしてほしい。
 - △ 6年間で担任をもってくださった先生が、転勤などで西小にいらっしやらないことが残念です。子どもたちが卒業後、母校を訪ねたいと思える西小であってほしいと思います。

考察

- 良いところは本校の特色として、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。
- 児童数減少に伴う登下校の安全確保は、地域のお力をお借りすることなど、方策を検討していきます。
- 児童の体力づくりについては、「西小外遊びデー」の取り組みを引き続き充実させていきます。

貴重な御意見、御提案、本当にありがとうございました。いただいた御意見、御提案を参考に、来年度も教職員一丸となって、子どもたちのための学校づくりに努力します。今後もよろしく願いいたします

